

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ保土ヶ谷支援教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な環境を整備することができている。	ダンス等の運動カリキュラムでも教室内を安全に広く使えるようにしている。	人員配置を整備し、より職員の目が届きやすいようにする。整理整頓や構造化を行い、過ごしやすい環境を作っていく。
2	職員間の連携が取れ、児童のことを理解したうえで個別支援計画が作成されて適正に支援が行われている。	保護者や児童に聞き取りを行い、将来の自立に向けた目標や支援内容を設定している。 職員間の情報共有を密にし、児童の様子に合わせた支援を行っている。	職員全体で計画作成に携わり、児童ごとの目標や方向性を共有してより良い支援を目指していく。 いろいろな活動・挑戦を通じて児童の興味や関心を引き出し、楽しみながら成長につなげていきたい。
3	保護者との連携が密に取れており、児童に関する共通理解ができている。	連絡が取りやすい体勢を整えており、送迎の際にもその日の状況報告等を丁寧に行っている。	必要に応じて見学会やh誤射会を開催し、保護者同士の関わりの機会を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	近隣施設や地域との交流が不足している。	人員の不足により、自立協議会や子ども部会への参加ができなかった。	利用児童が通っている学校との連携を増やしていく。 近隣の同グループ事業所とも交流を増やす。
2	保護者同士の交流の場が少ない。	保護者会を開催したが、就労等により参加にばらつきがあり、求められていた交流とはならなかったかもしれない。 そもそものニーズが少ない。	3月に教室内でのカリキュラム(ダンス・手話)の発表会を実施するため、児童を挟んで交流を深めたい。 見学週間のようなものを年に数回設定し、保護者に都合の良い日程で日頃の支援の様子を見学してもらうとともに、保護者同士の交流を図る場として企画していきたい。
3	運転ができる職員が少なく、急な欠員が出た際に、送迎が立ちいかなくなる可能性がある。	急な退職・休職が重なってしまった。 採用が上手くいかず、職員の追加ができなかった。	令和8年4月に1名入社予定。勤務を長く継続できるよう、働きやすい職場環境を整備する。 求人継続する。